

令和3年度 豊田市地域自立支援協議会第2回全体会 議事録

日時 令和4年3月11日（金）午前10時から正午まで

場所 WEB会議

出席者※敬称略

【委員19名】

平野隆之（会長）、阪田征彦（副会長）

那須江身子、三宅やすよ、大谷忠幸、鈴木誠子（河田佐津紀代理）、神野桂一、清水康史（有村秀一代理）、近藤健一郎、森下尚志、鈴木雅樹、神谷真巳、西村多恵、小寺直樹、辻望美、井上亘、山下裕司、成瀬智、梅田幸延

【担当者会議4名】

鈴木康祐、鈴木健吾、千葉晃嗣、殿内勝夫

【ブロックリーダー4名】 オブザーバーとして出席

渡辺裕矢、中村結香、国松佐知、久保直子

欠席者※敬称略

【委員3名】

小田康夫、稲垣徹、柴田直之

1 あいさつ

豊田市地域自立支援協議会 平野隆之会長

2 議題

(1) 各分会・WG等の総括及び次年度の体制

◆医療的ケア児者等支援部会（千葉委員が資料1を説明）

○平野会長

次年度から研修会の参加対象を医療職に限定しない方針か。

○千葉委員

限定しない方針で考えているが、最終的には次年度、部会で決めたいと考えている。

◆防災啓発WG（殿内委員が資料1を説明）

○平野会長

北部ブロックの自治区で防災の取組が進んでいるように見受けられる。北部ブロックから報告があるか。

○渡辺氏（北部ブロックリーダー）

北部ブロックに地域が企画した防災の取組の協力依頼があり、防災啓発 WG と連携して参加することができた。

◆各ブロック（各ブロックリーダーが資料 1 を説明）

○平野会長

北部ブロックの意思決定支援に関する研修について、どのような内容か。

○阪田副会長

相談支援専門員の質を上げることを目的に、本人主体の権利擁護の視点を持ちながら、SDGs の理念を取り入れて実施した。

○平野会長

南部ブロックにて、学校との情報交換会や保護者対象の講演会を開催しているが、見えてきた課題は何があるか。

○国松氏（南部ブロックリーダー）

新型コロナウイルスの影響により来年度に延期となったが、障がいのある子どもの卒業後の進路や親亡き後など、将来どのような支援をあるのか分からないと不安を抱えている保護者が多い。不安を取り除いていくことが課題と考えている。

○平野会長

地域単位の取組が増えたことは、4 つのブロックに移行させてきた成果か。

○国松氏（南部ブロックリーダー）

地域で気軽に相談できることは心強いとの意見を多く聞いている。

○阪田副会長

徐々に成果は上がっている。今年度は、豊田市心身障がい児早期療育推進委員会との情報交換会も各ブロックで開催した。ブロック単位ですることによって、地域課題抽出がより一層深まっている。

○事務局

WG とブロックが連携することで、検討した解決策をブロックごとにフィードバックし、展開する仕組みができている。ブロックで実施することによって、新たな課題解決に向けた取組を実施することにつながる。

◆課題整理部会（鈴木健吾委員が資料 1 を説明）

○神谷委員

豊田市心身障がい児早期療育推進委員会では、毎年、重点取組を設定している。今年度は相談支援専門員との連携を掲げ、豊田市地域自立支援協議会の各ブロックとの情報交換会を開催した。その中で、福祉サービスを利用する児童が増えてきており、支援に苦慮している等の意見があり、今後も早期療育委員会と自立支援協議会が連携することが必要だと感じた。課題整理部会のラフプランを見て「適切な児童福祉サービスの利用」との課題抽出に繋がったと認識した。

また豊田市こども発達センターとして、児童福祉サービスの提供事業所に向けて、様々な研修を実施している。来年度は、研修の中で、豊田市地域自立支援協議会の取組等を相談支援専門員から発信してもらおう機会を設けてはどうか等の意見も出ている。具体的な内容は今後検討していく。

◆担当者会議

◆豊田市地域自立支援協議会の新体制（鈴木康祐委員から資料 1 を説明）

○平野会長

豊田市地域自立支援協議会の新体制として「研修検討 PT」を設置することについて、承認ということによろしいか。

○出席委員全員が承認

(2) 第 5 次豊田市障がい者ライフサポートプランの進捗について

【新規かつ重点施策】

◆施策分野 2 重層的支援体制の推進

○事務局

資料 2 - 1 に沿って説明。

○平野会長

プロジェクトに参加されている事業所があれば、ご意見をいただきたい。

○鈴木健吾委員

課題整理部会でも挙がっている「社会参加を望んでいる当事者の居場所づくり」の課題を共有した。今後、密に連携を図っていきたいと考える。

○清水委員（有村委員代理）

企業として体験の場を含め社会貢献として参加するのは可能と考える。上手く活用してもらいたい。

○事務局

今回の出席者にプロジェクトに参加している方はいらっしゃらないが、豊田青年会議所とも繋がりがあある。同じ想いを持ってくれる企業との繋がりを増やしていけたらいいと考えている。

○平野会長

体験の場や引きこもり支援も含め、自立支援協議会で取り組んできた領域の課題提起も重要と考える。今後も連携をしてもらい、報告をお願いしたい。

◆施策分野3 相互理解の促進・意思疎通の円滑化

○事務局

資料2-2に沿って説明。

◆施策分野4 重度障がい者の受入れ促進

○事務局

資料2-3に沿って説明。

◆施策分野5 精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築

○事務局

資料2-4に沿って説明。

(3) その他

○平野会長

過去の全体会では、特別支援学校の卒業後の進路についての課題を取り上げていた。現状を教えてもらいたい。

○辻委員

今年度の卒業生全員が進路を決めることができた。また卒業後の定着支援も障がい者就労・生活支援センターに登録し、協力をお願いしている。

○小寺委員

今年度に関しては全員が進路を決めることができているが、中山間地域・南部地域での重症心身障がい児の行き場所が少ない。今後、苦慮することが予想される。

○井上委員

在学中に不登校となり、卒業後の進路が決めることができなかった生徒が1名あった。強度行動障がいの生徒もおり、今後も引き続き事業所等との連携をお願いしたい。

○平野会長

以前に比べて、豊田市内の社会資源が増えたかもしれないが、今後も引き続き状況把握をお願いしたい。

閉会